

ごみ焼却施設の維持管理の情報

令和元年度(2019年度)

単位		4月	5月	6月	7月	8月	9月	基準	
処分した一般廃棄物の種類および数量									
可燃ごみの焼却量	t	1号炉	3,915.80	0.00	4,691.98	5,427.11	5,419.98	5,073.03	
		2号炉	5,273.08	5,441.68	2,000.56	2,563.54	5,416.19	5,083.32	
		3号炉	3,327.34	5,419.75	5,276.13	5,411.37	5,420.36	3,214.05	
燃焼ガス等に関する記録									
燃焼ガスの温度	℃	1号炉	1,019	-	997	994	1,000	995	800 以上
		2号炉	987	971	938	949	961	967	
		3号炉	980	986	976	956	954	933	
集じん器入口の温度	℃	1号炉	163	-	162	163	164	163	200 以下
		2号炉	165	166	165	162	165	164	
		3号炉	166	167	168	168	170	166	
一酸化炭素濃度	ppm	1号炉	3.4	-	2.7	2.4	2.7	2.5	100 以下
		2号炉	1.8	1.8	1.7	2.7	2.0	1.8	
		3号炉	2.1	2.1	2.1	1.0	1.2	1.2	
ばいじんの除去を行った日	-	1号炉	付属機器による除去 (ガス冷却設備:ボイラーストブロワで毎日実施 ろ過式集じん器:空気式自動洗浄装置で毎日実施)						
	2号炉								
	3号炉								

単位		10月	11月	12月	1月	2月	3月	基準	
処分した一般廃棄物の種類および数量									
可燃ごみの焼却量	t	1号炉	3,716.25	5,288.50	4,787.84	4,329.17	5,095.19	3,725.88	
		2号炉	3,700.65	5,268.44	4,979.82	4,698.60	2,873.76	5,051.85	
		3号炉	0.00	5,214.59	4,824.12	4,155.73	5,083.98	3,718.59	
燃焼ガス等に関する記録									
燃焼ガスの温度	℃	1号炉	1,002	1,020	1,017	1,022	1,023	1,033	800 以上
		2号炉	981	985	986	987	992	996	
		3号炉	-	965	973	979	972	984	
集じん器入口の温度	℃	1号炉	164	169	169	170	171	172	200 以下
		2号炉	165	170	170	172	172	173	
		3号炉	-	167	169	171	172	172	
一酸化炭素濃度	ppm	1号炉	3.5	2.5	2.5	2.1	2.1	2.1	100 以下
		2号炉	1.9	1.6	1.6	1.4	1.6	1.6	
		3号炉	-	6.6	2.7	1.7	1.4	1.7	
ばいじんの除去を行った日	-	1号炉	付属機器による除去 (ガス冷却設備:ボイラーストブロワで毎日実施 ろ過式集じん器:空気式自動洗浄装置で毎日実施)						
	2号炉								
	3号炉								

煙突から排出される排ガスの測定結果

	単位		1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	排出基準
採取日	—	1号炉	H31.4.9	R1.6.11	R1.9.3	R1.10.25	R1.12.17	R2.2.3	/
		2号炉	H31.4.9	R1.6.10	R1.9.4	R1.10.25	R1.12.17	R2.1.31	
		3号炉	H31.4.25	R1.6.11	R1.8.26	R1.11.18	R1.12.20	R2.2.4	
計量証明発行日	—	1号炉	H31.4.22	R1.6.20	R1.9.12	R1.11.5	R2.1.7	R2.2.14	
		2号炉	H31.4.22	R1.6.20	R1.9.13	R1.11.5	R2.1.7	R2.2.12	
		3号炉	R1.5.15	R1.6.20	R1.9.5	R1.11.25	R2.1.10	R2.2.14	
硫黄酸化物	Nm ³ /h	1号炉	<0.016	<0.017	<0.015	<0.017	<0.018	<0.016	K値規制 ^{※1}
		2号炉	<0.016	<0.016	<0.014	<0.016	<0.017	<0.016	
		3号炉	<0.017	<0.016	<0.018	<0.018	0.021	<0.016	
ばいじん ^{※2}	g/Nm ³	1号炉	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.04
		2号炉	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
		3号炉	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
塩化水素 ^{※2}	mg/Nm ³	1号炉	<0.5	0.6	0.9	0.9	2.0	2.1	700
		2号炉	<0.5	<0.5	<0.5	0.6	1.0	0.6	
		3号炉	0.6	<0.5	<0.5	1.5	<0.5	<0.5	
窒素酸化物 ^{※2}	ppm	1号炉	20	19	14	14	17	18	250
		2号炉	22	22	10	19	19	18	
		3号炉	15	20	19	9	18	18	

※1 硫黄酸化物の排出量は、地域ごとに定められた係数(K値)と、煙突の有効高さ等によって規制されており、K値が小さいほど排出規制も厳しくなります。

豊中市のK値は1.17で、排出規制値は5.0Nm³/h(届出排出ガスより算出)です。

濃度に換算すると、およそ110ppmです。

※2 ばいじん濃度、塩化水素濃度、窒素酸化物濃度については、酸素濃度(12%)換算値

ダイオキシン類にかかる測定結果

	採取日	計量証明発行日	測定結果	排出基準
1号炉	R1.6.11	R1.7.26	0 ng-TEQ/Nm ³	0.1 ng-TEQ/Nm ³
2号炉	R1.6.10	R1.7.26	0.0017 ng-TEQ/Nm ³	
3号炉	R1.6.11	R1.7.26	0.000067 ng-TEQ/Nm ³	
下水放流水	R1.6.4	R1.7.12	0.000039 pg-TEQ/L	10 pg-TEQ/L

▽ <測定値 : 定量下限値(正確に定量測定ができる最低濃度)未満を表しています。

▽ 酸素12%換算 : 関係法令により規制されている、酸素濃度12%の状態に換算した濃度を示しています。

▽ m³N(立法メートルノルマル) : 0°C1気圧の状態に換算した気体の体積を表す単位です。

▽ TEQ(毒性等量) : いちばん毒性の強いダイオキシン2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-ジオキシンの毒性を1として換算した値を示しています。

▽ 排出基準値 : 大気汚染防止法、下水道法及びダイオキシン類対策特別措置法に基づいており、届出に用いた値から算出した値を示しています。